Mission TREEING 2030

~地球を、快適な住まいとして受け継いでいくために~

私たちは、地球環境、人々の暮らしや社会、市場や経済活動に価値を提供することで、将来世代を含むあらゆる 人々やすべての生き物に、地球が快適な住まいとして受け継がれていくことを目指します。これまでも強みとし てきた「森」と「木」の価値を活かし、深め、新たな未来の力へと変えていきます。











人と社会への価値

市場経済への価値

2050年の脱炭素社会実現を見据え、住友林業グループ が目指すべき姿を具体的な事業構想に落とし込んだものが、 長期ビジョン [Mission TREEING 2030] です。達成への コミットメントを高めるため、長期ビジョンの目標年度は国 連サミットで定められたSDGs(持続可能な開発目標)と同 じ2030年としています。また、グループの生み出す価値を 「地球環境への価値」「人と社会への価値」「市場経済への 価値 | に整理し、それぞれに紐づける形で9つの重要課題を

特定しました。

将来の成長と脱炭素化への貢献に向けた基盤を作るた めの第一段階として、現在、2024年度を最終年度とする3 年間の中期経営計画 [Mission TREEING 2030 Phase 1] (> P.34) に取り組んでいます。 「地球環境への価値」「人と社 会への価値」「市場経済への価値」3つの価値のいずれも損 なうことなく、それぞれの価値を同時に高めることにより、長 期ビジョンの達成を目指していきます。

2,500億円

> P.80

9つの重要課題と関連するSDGs

3 変革と新たな価値創造への挑戦

人と社会への価値 地球環境への価値 市場経済への価値 1 森林経営による「森」と 13:::::. 4 広く社会に快適で 7 [森] と [木] の 「木」の価値向上 ぬくもりある空間 新たな市場の創出 の提供 2 「森」と「木」を活かした 13 RHERIC カーボンニュートラル DX・イノベーション 5 事業を営む地域の の実現 による市場の変革 人々の暮らしの向上 3 「森」と「木」を活かした 強靭な事業体制の 6 働く人が活き活き サーキュラーバイオ \$ T. **Y**. **111** 構築 できる環境づくり エコノミーの実現 > P.61 > P.62 > P.63 「Mission TREEING 2030」 達成に向けた事業方針 業績目標 森と木の価値を最大限に活かした脱炭素化と 2 グローバル展開の進化 > P.20 2030年 経常利益目標 サーキュラーバイオエコノミーの確立 >P.16

4 成長に向けた事業基盤の改革

> P.58

住友林業のウッド・ソリューション

概要

構想

価値

貢献



循環型森林ビジネスの加速

CO2を吸収する保護林を拡大し、炭素 固定を促す経済林の伐採・再植林を加 速させる「ゾーニング森林経営」を推 進。カーボンオフセットで他社と社会 の脱炭素化にも貢献し、持続可能なビ ジネスを実現する。

グローバルで森林ファンドを設立し、ア ジアを中心に世界中の森林面積を拡 大。他社と社会のカーボンオフセット に貢献する。

CO2吸収価値を求める新たな顧客 提供先 脱炭素 CO2吸収

2024年 2024年まで 投資額※3 森林ファンド関連投資額 120億円 2030年

2030年 達成目標 森林保有·管理面積 **50**万ha

※1 建物を建てるときのCO2排出量を見える化するソフト。当社は、日本単独代理店契約を締結。 ※2 定量的環境データを第三者機関が評価・認証した環境ラベル。 ※3 2022年12月期~2024年12月期の合計の投資額。

木材

再エネ

ウッドチェンジの推進

木材が持つ炭素固定の価値を訴求しな がら、国産材の競争力強化を進める。 社会全体の木造化・木質化により脱炭 素化に貢献。

木材コンビナートの設立による国内の 林業・木材製造の効率化と木材由来素 材への代替で炭素固定量を増進する。

サプライチェーン上の取引先

COo削減 (スコープ3-カテゴリー1)

2024年まで 木材コンビナート投資額 200億円

2030年 木材コンビナート国産材使用量

100万m³/年

建築

脱炭素設計のスタンダード化

国内外の「LCCM住宅」の推進と、脱 炭素設計手法の確立・スタンダード化 による脱炭素建築の推進により、他社 他者の脱炭素化に貢献。

ZEH、ZEB、LCCM住宅、ネットゼロ カーボンビルの普及と脱炭素設計 (「One Click LCA」*1×EPD*2)の確 立で他社・他者の脱炭素化に貢献する。

建築主(一般消費者、企業)

COo削減 (スコープ3-カテゴリー11)

2024年まで 海外木造非住宅投資額 300億円

2030年 年間住宅供給戸数

5万戸

ウッドサイクルを回し脱炭素社会実現へ

当社グループの特長は、再生可能な自然資本である「木」を軸 とした川上から川下までのバリューチェーンであるWOOD CYCLE を回す事業活動にあります。「森林」分野での「循環型森林ビジネ スの加速」、「木材」分野における「ウッドチェンジの推進」、そして 「建築」分野での「脱炭素設計のスタンダード化」の3つを事業の 柱として、森林経営から木材・建材の調達・製造、木造建築、木質 バイオマス発電まで、脱炭素社会の実現につながるこれらすべて の事業を展開し、独自のウッド・ソリューションを国内外で提供して いきます。3つの柱それぞれに定量目標を掲げており、目標達成 に向けた積極的な取り組みを進めることで、自らの事業成長とと もに持続可能で豊かな社会の実現に貢献していきます。

ウッドサイクル

